

令和5年度
自己点検評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

1 学校の教育目標

本校は「何処の場にありても なくてはならぬ人となれ」という建学の精神のもと、先進的な工業技術を座学、実習の両面から徹底的に指導するとともに、豊かな教養を身に付け、企業の即戦力となる責任感旺盛な人材の養成を目標とする。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

令和5年度では、以下について重点的に取り組み教育を行った。

(1) 自動車学科

- ・ 二級自動車整備士 12年連続 100%合格を目指し、学生一人一人に合った指導を徹底するとともに、校内での企業実習を増加させることにより各自動車メーカーの新技术の習得と即戦力となりえるサービス技術の向上を目指す。
- ・ 就職率 100%を目指し、1年次早期の会社説明会への参加を促進させる。
- ・ 企業から求められる人材教育（マナー研修）については、外部講師を招いて本格的な研修会を実施する。
- ・ 退学者を出さないよう遅刻や欠席などが散見される学生に対する早めの指導と保護者との連絡を密接にする。

(2) エアポートサービス学科

- ・ グランドハンドリング作業においての必要な資格を取得させ、即戦力として活躍できる知識と実践的技術を身に付けさせる。また、佐賀空港での実習においては学校には無い器材等の運転操作を体験させその技能の向上を図る。
- ・ 就職試験対策として基礎学力の向上を図るとともに社会人として必要な教養教育を行い希望する企業に就職できるように指導する。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色を持っているか	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

自動車整備業界からの自動車整備士養成校に対してのニーズは、新技術の導入に伴い益々高くなっている。整備の基礎は勿論のこと技術の進歩に伴う電動車にも対応できるメカニックを育成することが必要とされる。また、自動車整備士の国家資格に関して、自動車整備士技能検定等の一部を改正する省令の公布に伴い施行日の令和9年1月1日に遅滞ないように準備していかなければならない。一方、航空業界では、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行より、外国人の入国規制の解除など訪日客もコロナ禍前に戻り航空業界も活気が戻っている。このような環境にあってグランドハンドリングスタッフの採用活動も活発となり、更に質の高い即戦力となりうる人材育成が求められる。併せて、両学科の共通として社会人としての人間力の育成も求められている。また、学校の理念等の周知については、その確認が求められる。

② 今後の改善方策

- 自動車業界は、各社メーカーの電動車へのシフトは揺るぎ無いものとなっている。この変化に対応するため、職業実践専門課程の特色を活かし最新の実務に関する知識・技術・技能等を習得させるよう関係業界団体・企業との連携を更に強化し演習・実習の質の向上を図り、業界の求める新技術にも対応できる人材育成に努める。また、自動車整備士技能検定等の一部改正に伴い、各級資格の一本化により教科書の変更に伴うカリキュラムの作成が必須となる。
- エアポートサービス学科においては、即戦力のグランドハンドリングスタッフを求められていることから専門知識の教育と卒業後の就業に直結する本校の特色である校内実習と現地空港での実践実習による質の高い人材育成を図る。併せて国際化にも対応した資格取得を推進し、卒業後の業務の幅を広げるための足掛かりとする。また、両学科共通事項として社会人として求められるマナー・コミュニケーション能力の向上を図るため、外部講師による講座の開設と全職員で継続的な指導に取り組むことが必要である。
- 学校の理念等の周知については、保護者向けの学校評価アンケートを活用し把握に努め周知の向上を図る。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1

運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事等に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
システム化等により業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

教育活動等の公開については、募集業務にも直結することから引き続きリアルタイムの発信に心掛け SNS を駆使して取り組んでいく必要がある。

② 今後の改善方策

ホームページに限らず若者（対象者）に関心のある発信ツールの活用も検討していかなければならない。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、人材育成や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1

成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- 自動車学科では、研修会等への積極的な参加により、新機構・新技術の教育に対応できる指導力の向上が求められる。また、新たな検定規定に基づく国家試験に対応できるよう積極的に情報収集などに取り組まなければならない。
- エアポートサービス学科の校内並びに現地空港での実習は、卒業生並びに採用企業からの評価を得ていることから、より実践的で質の高い実習となるようなカリキュラムを編成策定しなければならない。

② 今後の改善方策

- 自動車学科においては、業界団体主催の研修会には積極的に参加しており今後とも資質の向上に繋がるよう継続する。また、令和7年は教科書改訂が行われるのに伴う新カリキュラムの策定に取り組む。
- エアポートサービス学科は、校内実習並びに佐賀空港に所在するANA エアサービス佐賀株式会社との提携による現地空港での実習授業と三愛アピエーションサービス株式会社での給油業務の研修など企業との連携により即戦力の人材育成に努める。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1

資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

① 課題

卒業生の活躍等の把握については、入手した活躍・評価を職員間でしっかり共有することが大切と思われる。情報の共有と企業訪問等を併用し、引き続き把握に努めていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 企業訪問等で知り得た情報を共有することが解決策となる。
- ・ 退学者の皆無は素晴らしく、教職員の日頃の学生との向き合い方の成果である。今後も保護者との連携を深めながら皆無の継続を目指す。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生へのアフターフォロー（支援体制）はあるか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

課外活動については、コロナ禍の影響もあり、九州ブロック体育大会の参加も自粛していたが、学生のキャンパスライフの充実のためにも復活させたい。

② 今後の改善方策

- ・ スポーツ大会をはじめ課外活動の支援は、しっかりサポートしていきたい。
- ・ 卒業生の保護者からの要望を具現化するため、校内で入学式の開催並びに就職説明会の開催については、保護者との関係維持の情勢の面から今後も取り組んで行く。
- ・ 健康管理の体制については、部外講師による講座の開設など模索する。併せて、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も基本的な対策に取り組みながら学生生活の充実を図る。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

自動車学科のインターンシップが、新型コロナウイルス感染症の影響のため実施できていない。

② 今後の改善方策

自動車学科のインターンシップは、卒業後の就労イメージのアップとその後の修学意欲の向上にも繋がることから、協力企業と学生並びに保護者の理解を得て再開させたい。

(7) 学生募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1

校納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
------------------	---	---	---	---

① 課題

定員を満たすことはできなかったが、同法人が設置する高等学校からの受験者が増加に転じたことと県内外受験者の増加により昨年度から改善した。今年の成果を如何に次年度に継続させるかが最大の課題となる。改善策として取り組んだ同法人が設置する高等学校の2年生対象の体験型ガイダンスについては効果があったと判断し継続する。併せて、県内外からの受験者の獲得にも力を入れていかなければならない。また、オープンキャンパスの参加者が、この10年間で最も多くイベント企画の内容の魅力あるものに取り組んで行かなければならない。パンフレット等の広報物の作成は、募集並びに広報活動に相乗効果が期待できるものとし受験対象者に限らず保護者、1・2年生に対するアプローチとなるような内容とする。

② 今後の改善方策

- ・ 同法人が設置する高等学校の2年生に向けての体験型ガイダンスなど進学・学校の魅力について、情報提供を早期に行い意識付けを図り志願者の増加に繋げる。
- ・ 県下の高等学校進路担当者等への説明会から生徒の体験入学まで一連の行事を年間行事として組み入れ認知と周知を図り志願者の獲得に結び付ける。
- ・ オープンキャンパスの6・7・8月開催の特別企画の開催は、企業との連携を密接に各学科の魅力を最大限に引き出す内容とし参加動員に力を入れる。
- ・ 佐賀県専修学校各種学校連合会による校内・会場ガイダンス等で学校の特色並びに学科の特徴など魅力情報発信に努める。
- ・ 教職員一丸となり、募集成果の向上に今後も積極的に取り組む。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

募集定員の充足率の改善が課題である。

② 今後の改善方策

- ・ 学生募集での改善策の具現化により高充足率を継続させる。
- ・ 予算・収支計画については、より詳しい説明に心掛けていく。
- ・ 財務は、学校法人において監査並びに財務公開まで適切に行われている。

(9) 法令等の順守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適… 1			
法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

法令並びに設置基準は遵守されており適正に運営されている。また自己評価結果の公開は適切に行われている。ただし問題点の改善については、今後も真摯に取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

自己点検評価の目的は、諸々の問題点の改善に取り組むことであり、その目的達成のため引き続き全職員の問題解決に向けた意識改革と行動力が必要である。